

令和5年度花巻市児童生徒栄誉賞表彰式～ISHICHU PRIDE 2023～

2月20日（火）令和5年度の花巻市の児童生徒栄誉賞の表彰式を開催しました。市教育長からの式辞を校長が代読した後、表彰式を行いました。受賞者は以下の通りです。

【柔道 個人50kg級】上山 敬心（3-1）

【空手】佐々木このみ（3-1）佐々木太士（2-1）

【アイスホッケー】岩手県選抜 佐藤 太一（3-3）民谷 徠音（3-3）藤森光太郎（3-2）
佐藤 悠真（1-2）

【石鳥谷中男子バスケットボール部】団体の部 【代表】 照井 一瑳（3-1）

【クラブチーム（男子バスケット）】（YSI）団体の部【代表】菅原 夕槻（1-1）

【クラブチーム（女子バスケット）】（RISE）団体の部 柳原 里琴（3-3）八重樫一愛（3-1）

【クラブチーム（ハンドボール）】（リハル-ラ花巻）団体の部【代表】 佐々木瑛太（1-3）

【アイスホッケー】（盛岡南ペンギンズ `アイスホッケーチーム）団体の部【代表】 藤森光太郎（3-2）

【花巻市教育委員会教育長・佐藤 勝氏 祝辞（抜粋）



児童生徒栄誉賞は、スポーツや文化活動において素晴らしい成果をあげた方や、地域における伝統文化の継承活動に励んだ方など、日々の努力を積み重ねた児童・生徒を讃え、贈られるものです。活動が制限されたコロナ禍の時とは異なり、今年度は思う存分、自分の力を発揮することができたのではないのでしょうか。本日手にされる栄誉賞はお一人お一人の努力はもちろんですが、共に励まし合ってがんばってきた仲間、日頃から温かく見守り支えてくださったご家族、熱心に指導してくださった先生方、応援してくださった地域の方々など、多くのお力添えの賜だと思えます。これからも、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、新たな目標に向かってさらに充実した日々を過ごしていただきたいと思います。

※表彰を待つ生徒たち（写真左）

1・2年生から3年生へ合格絵馬を進呈しました



20日（火）の生徒朝会では、もうすぐ公立高校の受験日となる3年生へ、1・2年生から、激励のメッセージが書かれた絵馬が進呈されました。県内、市内ともにインフルエンザ・コロナ感染症が流行してきています。3年生の皆さんが、健康な状態で受験ができるように、また希望がかなうように祈っています。

令和7年度新入生体験入学を開催～Welcome to Ishidoriya JHS～



2月28日（水）令和6年度新入生の体験入学を4年ぶりに開催しました。コロナ禍で中止された後は、行事の精選の対象となる学校も多いのですが、4つ小学校から児童が入学してくる石鳥谷中学校の場合、やはり地域の6年生にとっては大切なイベントであると考え実施することにしました。各小学校の校長先生からも「実施はありがたいことです。」とのお言葉を頂いています。

生徒会執行部が中心になり、授業見学・レクリエーション・学校生活紹介・Q&Aコーナー等で石中へのわくわく感を高めてくれたと思います。学習面や運動面でも十分に準備をして、新鮮な気持ちで入学式を迎えてほしいと思います。企画・進行の生徒会執行部はお疲れ様でした。



【校長室より】～「自律」から「自立」へ～自分で決める進路、自分で決める人生でありたい。～

☆「自律」と「自立」。同じ読み方で似たようなイメージがあると思いますが、どちらがうのでしょうか。「自律」は「自分で決めること。」、「自立」は「他に依存せずに自分で経済的、精神的に独立すること。」です。「自律」は子どもの幸福度に大きく影響します。

☆子どもに幸せになってほしいなら、命令や強制をしないで自分で決めさせてあげましょう。ただ、命令や強制をしないというのは放任とは異なります。子どもに寄り添わず「自分で決めなさい。」では、子どもはストレスで精神的に不安定になることが多いです。逆に過干渉で親が決めすぎるとこれも反抗・反発する行動が出たりします。

☆もちろん、子どもたちは未熟ですので、たくさん、まちがったり、失敗したりするでしょう。受験期に不安定になることも多いです。でも、そこで話を聞いてあげるのが、アドバイスをしてあげるのが、子どもに寄り添って「自律」に導いてあげるのが、保護者の役割かなと思います。もちろん、教員も進路指導、進学指導のプロとしての立場で面談、受験に臨みます。保護者・教員がそれぞれの立場で寄り添い、「自律」させ「自立」へのスタートを切らせたいものです。

